

一期一会

自律 目標に向かって自分自身を律する
感謝 思いやりや感謝の気持ちをもつ
貢献 将来社会に貢献する態度を養う

2021.6.4 第9号



部活動生集会・・・部活動を通して学ぶこと

28日（金）に部活動生集会が行われました。

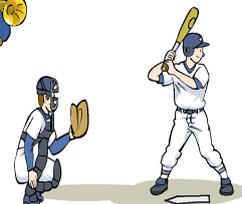
部活動生集会は今年から毎月定期的に行われる集会です。

各部活動の問題点や悩みなどを学校全体で共有し、共通実践事項や目的・目標などを確認します。

部活動は、学習指導要領へも位置付けられた学校の教育目標を達成するための大切な教育活動です。教師の勤務時間外の活動が多いのですが、学校の管理下の活動として指導方針をそろえ、授業と同じ大切な教育活動と認識する必要があります。

また、部活動は、生徒の自主性・自律性を育む教育活動でもあり、生徒指導上の諸問題の解決にも効果があります。過去にあった一流スポーツ選手の墮落した事件の報道からは、勝利至上ではいけないこと、部活動に向かう真剣な姿勢を日常生活にまで広げる心情や態度を育成するものでなければならないことは明白です。「はい」という返事、「ありがとうございます」という感謝の気持ちや練習場所の美化など、具体的な行動を通して学び、成長していくことが大切です。

そして、健康の増進を図る目的もあります。自分の健康に関心を持ち、食生活やメディアとの正しいつきあい方なども日常の生活で意識していく必要があります。「一期一会」第8号でもふれましたが、小林市は中学生まで「子ども医療助成」によって月800円でむし歯治療ができます。競技をするための体づくりと捉え、むし歯治療については最優先でお願いします。



地域の方から学校に電話があり、教頭先生が対応したそうです。苦情の電話かなと思って心配したそうですが、内容は「地域でのあいさつが素晴らしい。朝から気持ちがよく、つい電話をしました。」とのことでした。

私の経験上、校内ではあいさつができて校外ではできないということで苦言をいただいたり評価が低かったりすることがよくありました。今回は地域の方から非常にうれしいお言葉をいただきました。来校される方、皆さんあいさつが素晴らしいと褒めてくださいます。細野中の伝統ですね。

今週は定期テストがありました。1年生にとっては初めてのテストであり、いろいろと戸惑うことも多かった事だろうと思います。「勉強すること」について、立命館アジア太平洋大学（APU）学長の出口治明氏のことばを紹介します。これから幾度とあるテストへの取り組み方、学び方について考えるきっかけにしてください。

成果の出る学習の秘訣は「仕組みづくり」

出口治明

「有効な英語の勉強方法がありますか」「楽に学べる方法はありませんか」などと時折質問されますが、そんなものがあるわけがありません。どんな分野の勉強でもある程度の時間をかけて、一所懸命取り組み以外の方法はないのです。

もちろん学習のコツのようなものは若干あるでしょうが、大した効果はありません。それよりも毎日2時間などと時間を決めて、英語の読み書き、ヒアリング、スピーキングを一所懸命継続することです。そうすればやがて、英語をマスターできるはずです。



結局、どんな勉強もかけた時間がものをいいます。大事なことは継続です。したがって、自分のやる気を継続させるインセンティブを上手に与え続けることが大切です。英語にせよ他の勉強にせよ、よくできる人は、自分をごまかしてやる気にさせる仕掛けづくりが大変上手です。

僕の母校である三重県の上野高校で、現役で5年ぶりに東大に合格した後輩がいます。彼の勉強方法を尋ねてみたら、やはりとても合理的でした。

後輩曰く、いろいろ本を読んで調べてみると、集中して脳を使うのは2時間くらいが限界。だから高校に入学した時に毎日2時間勉強することを決めた。ではどの時間帯が集中できるかというと、自分は晩ご飯を食べてから1時間くらいたないとエンジンがかからない。だから夜7時頃にご飯を食べ終えて、1時間ほどテレビを見たり音楽を聴いたりして過ごし、8時から10時までは集中して勉強するように決めた。そして自分の苦手な分野から順番に毎日2時間ずつ勉強していったら、東大に合格できた。

要は夜8時から10時まで集中して勉強するのが一番効率がいいと自分に言い聞かせ、そういうルールをつくることで自分を追い込んでいったのです。勉強ができる人はこのように、仕掛けづくりが非常にうまい。逆に成績がなかなか伸びないと悩んでいる人は仕掛けづくりが下手で、実は机に向かっていても勉強に集中できていなかったりするのです。